

# 令和5年度学校自己評価表

名古屋たちばな高等学校

全日制課程

## I 学校の現況

- (1) 学校名 名古屋たちばな高等学校
- (2) 課程 全日制課程（男子・女子）・通信制課程（男子・女子）
- (3) 所在地 全日制課程 〒460-0026 名古屋市中区伊勢山一丁目2番29号  
橋校舎 〒460-0016 名古屋市中区橋二丁目6番15号  
TEL：052-322-1911 FAX：052-332-3427  
ホームページ：<http://asu-tech.ed.jp>  
メールアドレス：[info-tech@asu.ac.jp](mailto:info-tech@asu.ac.jp)
- 通信制課程 〒460-0016 名古屋市中区橋一丁目21番25号  
TEL：052-322-5255 FAX：052-322-5259  
ホームページ：<http://asu-tchs.jp/>  
メールアドレス：[asu-tchs@asu.ac.jp](mailto:asu-tchs@asu.ac.jp)

### (4) 沿革

- 昭和36年 前身の愛知工芸高等学校が創立する。電気通信科設置
- 昭和37年 学校名が東海工業高等学校に改称される。電気科設置
- 昭和38年 電気通信科を電子科に改称
- 昭和40年 通信制課程普通科を新設
- 昭和43年 通信制課程に電気科・機械科を増設
- 昭和54年 岩塚校舎が落成
- 昭和57年 4号館が落成
- 平成6年 家庭科実習棟が落成
- 平成12年 通信制課程校舎が落成
- 平成13年 愛知産業大学工業高等学校に改称
- 平成14年 管理棟が落成
- 平成19年 2・3号館が落成
- 平成23年 創立50周年を迎える
- 平成27年 伊勢山本校舎が落成
- 平成29年 橋校舎110周年記念アリーナが落成
- 令和3年 創立60周年を迎える
- 令和6年 名古屋たちばな高等学校に改称。普通科増設。男女共学化。

### (5) 学科の構成

#### ①電気科

電気・電子に関する基礎的な知識や技術を習得し、電気の発生から応用までを幅広く学習します。太陽光発電や燃料電池などの新エネルギーをはじめとする最先端の電気技術を学ぶことができます。

《目標資格》 第三種電気主任技術者、電気基礎認定試験、第一種電気工事士、第二種電気工事士など

#### ②電子科

電気・電子における基礎知識および技術を取得し、電化製品の仕組みやシステム設計まで幅広く学習します。社会人に求められる情報スキルのベースとなる電子情報技術を学ぶことができます。

《目標資格》 基本情報技術者、第一級アナログ通信、第二級アナログ通信、第一級デジタル通信、第二級デジタル通信、第1級陸上特殊無線技士、第2級陸上特殊無線技士など

#### ③機械科

溶接・機械加工・手仕上げからエンジンの仕組み・自動工作機まで金属加工・機械テクノロジーの基礎から応用まで幅広く学習します。電子回路・プログラミングなど実習を重視し、ロボットの仕組みや情報スキルを学べます。勉強も部活動も、一生懸命に取り組みたい生徒に向けてバックアップします。

《目標資格》 アーク溶接技能検定、ガス溶接技能講習、旋盤技能検定、基礎製図検定、機械製図検定、初級CAD検定など

#### ④普通科

Society5.0、超スマート社会など変革する社会において、ただ大学進学を目標とするのではなく、ICT活用の学習によりDigitalスキルを高め、「わからない分野」「知らない世界」においてもゼロから挑戦できる想像力豊かな人材育成を目指します。

(6) 生徒数 (全日制課程) 令和6年5月1日現在

学年	1学年	2学年	3学年	合計
電気電子科	171	*	*	171
電気科	*	33	32	65
電子科		44	64	108
機械科	259	152	178	589
普通科	78	*	*	78
合計	508	229	274	1011

## II 教育目標

- (1)「建学の精神」：豊かな知性と誠実な心を持ち 社会に貢献できる人材を育成する
- (2)「教育目標」：社会から歓迎される技術者の育成をめざして、電気・電子・機械に関する専門教育を実践し、時代の進展を視野に入れた基礎能力を定着させ、更に、将来のスペシャリストとして、専門の力をつけるよう教育内容の充実と改善に努めております。また、多くの情報が得られ、多様性が求められる時代に対応できる想像力豊かな人材の育成を教育理念としています。
- (3)「校訓」：感謝・礼儀・誠実・積極・努力
- (4)「誓いの言葉」：私たちは父母のおかげで勉学する機会が与えられているからその期待にそむかず一生に二度とこないこの時を無駄にすることなく勉学と修養に励み社会から喜ばれる人間になろう。

### 教務科（学習に関わる項目）

重点目標	主な結果
<p><b>1. 基礎学力の向上と定着</b></p> <p>①成績不振者に対して、1・2学期に面談を実施し、学年末の原級留置「0」を目指す。</p> <p>②定期試験を始め、各種試験における問題行動「0」を目指す。また、体育授業におけるけがや事故の防止に努める。</p> <p>③進学・就職に対応できる基礎学力の向上と定着。</p> <p><b>2. 電気・電子科</b></p> <p>①安全指導の徹底と実習災害「0」。</p> <p>②整理整頓の励行および施設・設備の管理徹底。</p> <p><b>3. 機械科</b></p> <p>①安全指導の徹底と実習災害「0」、および実習室のごみ処理・掃除忘れ「0」。</p>	<p><b>1. 基礎学力の向上と定着</b></p> <p>①夏休み中に基礎学力向上講習を実施。(8/30・8/31)</p> <p>②2学期定期試験中に不正行為発覚。体育授業中のけがは複数件あり。</p> <p>③高校生のための学びの基礎診断をベネッセ基礎力診断テストを利用して実施。</p> <p><b>2. 電気・電子科</b></p> <p>①実習事故「0」。</p> <p>②管理台帳記入状況良好。 破損箇所1箇所あり。報告後速やかに修理。その他異常題なし。整理整頓継続中。</p> <p><b>3. 機械科</b></p> <p>①重大事故1件発生（教員） ごみ処理・掃除忘れは継続指導中</p>

<p>②基礎力の定着。(課題テスト平均点 50 点以上。10 点以下の生徒をなくす。)</p> <p>③全体の資格合格率 60%。(昨年度 54.0%)</p>	<p>②2 年 39.4 点 3 年 49.7 点 10 点未満: 2 年 35 名、3 年 17 名</p> <p>③合格率 56.8% (延べ 312 名合格/549 名受験)</p>
<p><b>4. 資格取得の奨励</b></p> <p>①第一種電気工事士合格 10 名以上、第二種電気工事士合格 50 名以上。</p> <p>②電気基礎認定試験合格 15 名以上。高校工業基礎学力テスト平均 45 点以上。</p> <p>③愛知県知事技術顕彰 100 名以上の受賞。</p> <p>④卒業時、3 年生 1 人あたりの資格取得 4 つ以上。</p> <p>⑤ジュニアマイスター顕彰 10 名以上受賞。</p> <p>⑥国家資格 200 名以上の取得。</p>	<p><b>4. 資格取得の奨励</b></p> <p>①第一種電気工事士 13 名、第二種電気工事士 25 名、第 2 級陸上特殊無線 24 名、情報技術検定 1 級 1 名、実用英語技能検定準 1 級 1 名</p> <p>②電気基礎認定試験合格 8 名、工業基礎学力テストは平均 29 点。</p> <p>③愛知県知事技術顕彰 93 名受賞。</p> <p>④卒業生 1 人あたり 3.56 個取得。</p> <p>⑤23 名。(ゴールド 3、シルバー 9、ブロンズ 16、</p> <p>⑥のべ 159 名取得。</p>
<p><b>5. 図書</b></p> <p>①「図書だより」を各学期 1 回発行。</p> <p>②生徒からのリクエスト図書を 10 冊入荷。</p> <p>③文化祭にて図書室のアピールを行う。</p> <p>④図書スペースにて図書にまつわる告知を行う。</p>	<p><b>5. 図書</b></p> <p>①新刊本入荷を図書便りにて紹介。</p> <p>②リクエスト図書を聞いて、次年度の図書構想に反映予定。</p> <p>③見学説明会で図書室をアピール。</p> <p>④作文や小論文コンクールの応募ポスターを校内に一部掲示。</p>

<p><b>6. 教員の資質向上</b></p> <p>①研究授業、現職研修の積極的実施。</p>	<p><b>6. 教員の資質向上</b></p> <p>①研究授業は3回実施。 現職研修は2回実施。</p>
---	--

【自己評価及び課題等】

**1. 基礎学力の向上と定着**

- 普通科設置に伴い、基礎学力の向上は今後さらに強化が必要。
- 不正行為をさせない試験監督としての自覚が必要。体育授業中のけがは、発育段階における巧緻性の欠如や基本的運動能力そのものの低下などによりこれまで起きにくかった場面での発生頻度が高い印象。
- 将来的に就職にも進学にも対応できる幅広い分野の学習指導が必要。

**2. 電気・電子科**

- 安全や整理整頓に対しては、現状を維持するための教員間の共通意識が必要。
- 引き続き電子系資格合格者の増加を図る。

**3. 機械科**

- 今回のけがを通して、安全対策の見直しを行った。実習中のけがや事故については、程度の大小にかかわらず、担当者同士でその情報を共有し、再発防止に努める。
- 基礎力の向上については今後さらに具体的な取り組みが必要。

**4. 資格取得の奨励**

- 重点目標突破に向けて今後も資格取得奨励を呼びかけていく。
- 上級資格を取得するにも基礎学力の向上が必要。基礎学力の強化と資格取得へのチャレンジ精神の両立に向けて具体的取り組みが必要。

**5. 図書**

- 本校舎から離れた橘校舎にある図書室をどのように利用させるかが課題。文化祭を通して図書室のアピールを実施。

**6. 教員の資質向上**

- 現職研修の1回目（6/24）は「救急法」を実施。教職員を小グループに分けて、AEDの取り扱いや心肺蘇生法について受講。
- 2回目（10/14）は令和6年度からの男女共学に向けて、愛知県教育委員会から講師を招き、「不祥事防止・女子生徒対応」について受講。

## 教務科（進路指導に関わる項目）

重点項目	主な結果
<p><b>1. 就職</b></p> <p>①インターンシップ（2年次7月）</p> <p>②基礎学力の向上と面接指導の徹底を目指す。</p> <p>③学校紹介一次内定率 90%を目指す。</p> <p>④12月末までに内定率 100%を目指す。</p> <p><b>2. 進学</b></p> <p>①年内に進学希望者合格率 100%。</p> <p>②姉妹校への進学者数確保。 （愛産大 30名、ELIC10名以上）</p> <p>③総合型選抜入試の合格率 60%。</p>	<p><b>1. 就職</b></p> <p>①2年生 122名が参加。</p> <p>②面接指導は8月末から実施。</p> <p>③一次内定率 92.2%</p> <p>④11月中に全員内定。 （学校紹介就職希望者）</p> <p><b>2. 進学</b></p> <p>①2月に 100%達成。</p> <p>②愛産大 17名 ELIC13名合格。</p> <p>③四大 74%、短大 100%、 専門学校 100%、全体 90.8% 達成。</p>

### 【自己評価及び課題等】

#### 1. 就職

○丁寧できめ細かな指導を心掛け、早期に内定率 100%を達成できた。昨年に引き続き、若年者労働者の減少により求人倍率が 10.19 倍と高かったことが要因のひとつ。

#### 2. 進学

○総合型選抜入試の受験者が全体の 65%を超えているため、今後は小論文指導に力を入れていく。

## 指導科（生活指導・特別指導に関わる項目）

重点目標	主な結果
<p><b>1. 基本的な生活習慣を確立し、生徒個々の規範意識の向上を目指す。</b></p> <p>①頭髪最終指導者各学年 5名以下。</p> <p>②遅刻指数 1.5 以下、欠席指数 2.0 以下。</p> <p>③無断アルバイト撲滅。</p> <p>④校内盗難ゼロ。</p> <p>⑤正副ルーム長のリーダーシップを高める。</p>	<p><b>1. 基本的な生活習慣を確立し、生徒個々の規範意識の向上を目指す。</b></p> <p>①リクルースタイルの浸透が進んでいない。</p> <p>②遅刻・欠席ともに大幅な増加。遅刻指数 2.43 欠席指数 4.70</p> <p>③無断アルバイト無し。</p> <p>④校内盗難無し。</p> <p>⑤クラス間で差がある。</p>

<p><b>2. 問題行動（非行・いじめ）防止の意識を高める。</b></p> <p>①特別指導者年間 20 名以内。</p> <p>②SNS等のネットマナーの徹底。</p> <p>③4ナイ運動の徹底</p> <p>④指導教材の選定。</p>	<p><b>2. 問題行動（非行・いじめ）防止の意識を高める。</b></p> <p>①19名(1年6名、2年4名、3年4名)</p> <p>②違反生徒複数指導。</p> <p>③問題行動なし。</p> <p>④休日用の課題プリントを一部手直しした。</p>
---	---

**【自己評価及び課題等】**

**1. 基本的な生活習慣を確立し、生徒個々の規範意識の向上を目指す。**

- 令和5年度は「リクルースタイル」で統一としたものの、浸透が進んでいない。生徒間・教員間でも認識の差が出ている。
- 頭髪指導（ツープロック）の対応について検討が必要。
- 携帯電話はじめ所有物はロッカーでの自己管理を徹底させる。
- 昨年度に引き続き、生徒指導部会（学校生活向上部会）を設置し、保護者・生徒・学校が連携してより良い学校を目指す。
- 校則の見直しや改定については、世の中の動向を見定め、学校方針のもとで、生徒会や保護者会の場において確認・議論して行うことが必要。

**2. 問題行動（非行・いじめ）防止の意識を高める。**

- SNSでの誹謗中傷や命の尊さに力点を置く指導を一層強化する。
- 「4ナイ」運動は、自動車学校との連携を強化し、運転免許取得状況の把握に努める。
- 問題行動生徒に対しては、本人・保護者・学校間での連携と話し合いが大切。本人への深い自省を促す有効な指導内容を検討して、今後も再発防止に努める。
- 指導用の教材は時代に即したものを選定し指導強化を高めていく。
- 学期ごとに「生活アンケート」を実施し、いじめに発展し得る行為について学級担任が早期かつ的確に把握する。「いじめを発生させる余地のない」学校の実現を目指す。

**指導科（保健・安全教育に関わる項目）**

重点目標	主な結果
<p><b>1. 登下校マナーの向上と安全指導</b></p> <p>①愛知県警主催の「200日間自転車無事故無違反ラリー」に挑戦し、7年連続表彰に挑戦する。 (6/1～12/17)</p>	<p><b>1. 登下校マナーの向上と安全指導</b></p> <p>①無事故無違反ラリー7年連続達成。</p>

<p>②自転車通学者の車両点検の徹底と保険加入および登録申請 100%。</p> <p>③自転車通学者対象の交通安全指導を年 2 回実施し、昼放送を通して生徒の安全意識を高める。</p> <p>④公共交通機関利用時と登下校時のマナーやモラルの向上を目指し、掲示物を作成する。</p> <p><b>2. 健康への関心を高める取り組み</b></p> <p>①健康診断結果に基づき、必要な場合は専門医療機関での再検査や再治療を呼びかける。</p> <p>②「保健室通信」を月 1 回程度発行し、健康への関心を高める。</p> <p>③LT を利用し、各学年 2～3 回「保健指導」を実施する。</p>	<p>②全車両の点検および保険加入登録申請済み。</p> <p>③対象者全員に対して安全指導放送および警察官による交通安全講話を実施。 (9/4)</p> <p>④マナーとモラルについての掲示物を作成し、校内及び教室内に掲示。</p> <p><b>2. 健康への関心を高める取り組み</b></p> <p>①健康診断結果は 4 月末に、再検査勧告書は 6 月中に配布。</p> <p>②毎月 1 回発行。(計 11 回) HP にも掲載。</p> <p>③養護教諭の都合により、実施できず。</p>
--	---

【自己評価及び課題等】

**1. 登下校マナーの向上と安全指導**

- 自転車乗車時のヘルメット着用の義務化については、継続して指導を行う必要がある。また、登下校以外での私生活における自転車乗車に対しても同様。
- 自転車通学者以外の生徒に対しても昼放課の放送指導を通じて交通安全指導を実施。
- 保健室通信を各教室に掲示のほかホームページにも掲載中。

**2. 健康への関心を高める取り組み**

- コロナの時期は自粛していた生徒を 1 箇所を集めての一斉指導を復活させていきたい。

**指導科（生徒会・社会貢献・生徒相談に関わる項目）**

重点目標	主な結果
<p><b>1. 部活動と委員会活動の活性化</b></p> <p>①部活動入部率目標 80%。</p> <p>②委員会活動において具体的目標を定める。</p>	<p><b>1. 部活動と委員会活動の活性化</b></p> <p>① 1 年生入部率 76%。</p> <p>②年間 8 回の委員会活動を実施。</p>

<p>③生徒会執行部および部活動生徒が協力して地域貢献を図る。</p> <p>④部活動関係書類の速やかな処理。</p> <p><b>2. 地域に貢献できる活動への積極的参加</b></p> <p>①夏期ボランティア活動目標 20 名参加。 ②缶詰め 100 万個ボランティア協力 20 名。</p> <p>③卒業献血協力者 100 名以上。 ④地域・社会貢献の充実を図る。     (1)通学路クリーン運動      (2)秋の橘座公演実施     (3)あけぼの学園活動参加</p> <p><b>3. 心の支援活動</b></p> <p>①サポートミーティングの定期的開催。 ②SC (スクールカウンセラー) によるカウンセリング実施。 ③保護者対象の心理学講座の開講。</p>	<p>③愛知県通学路交通安全対策事業 (交通安全活動推進事業) 活動実施。 ④各種書類の提出遅れや未提出あり。</p> <p><b>2. 地域に貢献できる活動への積極的参加</b></p> <p>①31 名参加。 ②43 名参加。献血協力総数 18229 名。 ③42 回目実施。 ④     (1)隔週月曜日にクリーン運動実施。     (2)今年度も中止。     (3)マーチングバンド 49 名、有志 43 名参加。</p> <p><b>3. 心の支援活動</b></p> <p>①毎月 1 回、月末に実施。 ②希望生徒に対して適宜実施。 ③ 1 回(2/15)開講。11 名参加。</p>
--	---

【自己評価及び課題等】

**1. 部活動と委員会活動の活性化**

- 委員会活動については年間計画および各階のテーマを掲げ、自発的かつ発展的な開催を目指す。また委員会は、生徒が健全な学校生活を送り、よりよく成長・発達していくことを目的として開催する。
- 部活動関係提出書類については、旧校名での記載箇所があり、記載者による回覧前の確認が求められる。

**2. 地域に貢献できる活動への積極的参加**

- 地域に愛される学校づくりの一環として地道に奉仕活動を展開していくことが必要。
- 橘座公演再開に向けて検討中。

### 3. 心の支援活動

- サポートミーティングを開催し、SC（スクールカウンセラー）を交えたスクリーニング会議の実施により、悩みを抱える生徒の早期把握と教職員間の情報共有を高める。
- 生きる力を育む教育実践のため、命の大切さを伝え、人権教育や性教育を充実させるための具体的な取り組みを検討する。

#### 【主な部活動や同好会の成績】

##### ◎令和5年度全国高等学校総合体育大会

〔自転車部〕北海道函館市

スクラッチ出場 佐々 鴻士朗

ロードレース出場 倉谷 俠俐

〔少林寺拳法部〕北海道旭川市

団体組演武出場

高橋泰河・長屋凌・山内涼生・杉田翔哉・吉田翔英・東 直樹・柴田凌雅・今井脩稀

##### ◎令和5年度第18回若年者ものづくり競技大会

電気工事部門 金賞（厚生労働大臣賞） 堀之内琉馬

##### ◎令和5年度愛知県高等学校バレーボール選手権大会 第3位

##### ◎中部電力パワーグリッド第65回名古屋市スポーツ祭バレーボール競技 優勝

##### ◎令和5年度特別国民体育大会 東海ブロック バレーボール少年男子の部 優勝

森 啓太 愛知県選抜メンバーとして、「燃ゆる感動かごしま国体」出場権獲得

##### ◎令和5年度特別国民体育大会（燃ゆる感動かごしま国体）

森 啓太（愛知県選抜チーム） 第4位

##### ◎第75回愛知県高等学校野球選手権大会 名古屋地区1次予選1位（2次予選出場）

##### ◎愛知県高等学校学年別名南北支部陸上競技会

石井颯人 走り高跳び 第3位

村田悠輔 砲丸投げ 第2位

金村緩芭 走り幅跳び 第6位

##### ◎中部電力パワーグリッド第65回名古屋市スポーツ祭陸上競技

石井颯人 走り高跳び 第2位

村田悠輔 砲丸投げ 第4位

金村緩芭 走り幅跳び 第5位

##### ◎第74回愛知県私学祭陸上競技大会

松野 然 やり投げ 優勝

石井颯人 走り高跳び 第3位

村田悠輔 砲丸投げ 第6位

##### ◎第49回マーチングバンド東海大会

マーチング部門 銀賞

カラーガード部門 第1位

マーチングパーカッション部門 第1位

※第7回カラーガード・マーチングパーカッション全国大会出場権獲得

マーチングステージ部門 第22回マーチングステージ全国大会出場権獲得

◎第38回国民文化祭（いしかわ百万石文化祭2023）出場権獲得

◎令和5年度愛知県高等学校新人体育大会少林寺拳法競技

規定単独演武 柴田凌雅 第1位

※第27回全国高等学校少林寺拳法大会出場権獲得

◎令和5年度愛知県高等学校新人体育大会自転車競技

トラック競技 フライング200mタイムトライアル 寺田晃大 第2位

3kmインディヴィデュアル・パシュート 倉谷侏侗 第2位

ロード競技 寺本晃大 第3位、倉谷侏侗 第4位、松島龍之介 第5位

学校総合順位 第1位

※令和5年度全国高等学校選抜自転車競技大会出場権獲得（トラック競技・ロード競技）

◎令和5年度愛知県高等学校新人体育大会バレーボール競技 第3位

◎令和5年度第29回東海私立高等学校男女バレーボール大会出場

◎令和5年度第30回東海高等学校バレーボール選抜大会 Bトーナメント3位

◎第7回カラーガード・マーチングパーカッション全国大会 群馬県高崎アリーナ

カラーガード部門 銅賞

マーチングパーカッション部門 特別賞

◎第22回マーチングステージ全国大会出場 神奈川県神奈川県民ホール

◎第27回全国高等学校少林寺拳法選抜大会 香川県善通寺市民体育館

規定単独演武 柴田凌雅 出場

◎令和5年度全国高等学校選抜自転車競技大会

3kmインディヴィデュアル・パシュート 倉谷侏侗 第10位

ロードレース 倉谷侏侗 6位入賞

寺田晃大 出場

松島龍之介 出場

4km速度競走 寺田晃大 出場

ポイントレース 松島龍之介 出場

スプリント 宮地拳汰 出場

ケイリン 佐賀海太 出場

◎第43回全国高等学校空手道選抜大会

3人制 優勝（堤 悦朗・三厨祐也・額額章馬・奥崎絢心）

校務科（学校管理・保護者対応に関わる項目）

重点目標	主な結果
<p><b>1. 安全面・学習面に配慮した教育環境の整備・充実</b></p> <p>①校内事故による怪我ゼロを目標とし、安全に学習できる環境を整える。</p> <p>②省エネを推進し、目標値「前年度比1%削減」を目標に、意識の高揚を図る。</p> <p>③環境衛生に気を配り、ごみを前年比3%減少する。</p> <p><b>2. 危機管理</b></p> <p>①防災訓練を計画・実施し、教員・生徒の意識を高める。また、不審者侵入の対応を検討し未然防止を図る。</p> <p><b>3. 学校環境衛生</b></p> <p>①舎内外の清掃の徹底</p> <p>②ゴミの分別徹底。減量化</p> <p><b>4. 保護者会活動の充実・学校行事への参加</b></p> <p>①保護者役員会を年5回実施</p> <p>②学校行事等の案内を出し、できるだけ多くの保護者に参加して頂く。</p>	<p><b>1. 安全面・学習面に配慮した教育環境の整備・充実</b></p> <p>①けがにはつながっていないが老朽化による設備の破損が見られる。</p> <p>②環境の変化により、エアコン使用頻度が増加している。</p> <p>③校内への持ち込みゴミが増加している。</p> <p><b>2. 危機管理</b></p> <p>①不審者侵入対応訓練を5/24 岩塚校舎風水害対策訓練を5/23、シェイクアウト訓練及び避難訓練を9/1にそれぞれ実施。</p> <p><b>3. 学校環境衛生</b></p> <p>①夏休み期間業者による清掃を実施。</p> <p>②教室のごみ回収時間を変更（帰り→昼放課）。</p> <p><b>4. 保護者会活動の充実・学校行事への参加</b></p> <p>①総会…5/13に実施 第1回…4/22、第2回…7/7、第3回…9/8、第4回…12/8、第5回…2/10に実施</p> <p>②コロナによる入場制限を撤廃し、従来の方式に戻して実施。</p>

【自己評価及び課題等】

### 1. 安全面・学習面に配慮した教育環境の整備・充実

○継続して安全点検を実行し、安全状態の維持および危険箇所の撲滅に努める。省エネについては、これまで以上の強い啓発活動と教員自身の意識改革が必要。

### 2. 危機管理

○大規模災害の発生に備え、定期的に避難訓練を実施し、速やかな避難の実践を図る。

### 3. 学校環境衛生

○ごみの分別や削減は、生徒への指導は当然であるが、教員の意識向上も必要である。

### 4. 保護者会活動の充実・学校行事への参加

○保護者との信頼関係を維持するため、また生徒のために、保護者会活動を重要な位置づけとして捉えた取り組みを継続していきたい。

## 校務科（渉外・生徒募集に関わる項目）

重点目標	主な結果
<b><u>1. 次年度の生徒募集に向けた取り組み</u></b>  ①推薦入学 365 名(工業 300、普通 65)を獲得。  ②一般受験生 1000 名(工業 800、普通 200)を獲得。  ③入学者 410 名の確保。  ④体験入学・入部、見学説明会の延べ参加数 1100 名超。  <b><u>2. 学校情報の提供</u></b>  ①校名変更・男女共学・普通科設置に向けて活発な広報活動を実施。	<b><u>1. 次年度の生徒募集に向けた取り組み</u></b>  ①推薦・特色 390 名(工業 343、普 47)。(前年 208)  ②1370 名(工 1048、普 322)。前年 676)  ③509 名(工 431、普 78)。(前年 238)  ④体験入学 2 日間、見学説明会 4 回で 1370 名。  <b><u>2. 学校情報の提供</u></b>  ①学校案内、HP 以外にも新規媒体で広報活動を実施。

【自己評価及び課題等】

### 1. 次年度の生徒募集に向けた取り組み

○体験入学入部や見学説明会は校名変更、普通科設置、男女共学を踏まえた内容にリニューアルして実施。

### 2. ホームページまたは印刷物による情報の提供

○担当業者との連絡を密にし、いち早く情報を提供できるよう工夫が必要。

## 各学年の目標

重点目標	主な結果
<p><b>1. 1 学年</b></p> <p>①定期試験平均点 60 点以上。 ②欠席率・遅刻率ともに 1.5 %以内。 ③退学率 2 %以内。</p> <p>④入部率 70 %以上。</p> <p><b>2. 2 学年</b></p> <p>①定期試験平均 60 点以上。 ②欠席率 2 %，遅刻率 1 %以内。 ③愛知県知事技術顕彰受賞者総計 100 名以上。 ④転退学者率 3 %（9 名）以内。</p> <p><b>3. 3 学年</b></p> <p>①定期試験平均点 60 点以上。 ②姉妹校進学者 30 名以上。</p> <p>③就職一次内定率 85%以上。年内の内定完了。</p> <p>④ジュニアマイスター顕彰 5 名以上。</p>	<p><b>1. 1 学年</b></p> <p>①<b>62.1</b> 点（学年末） ②欠席率 <b>2.35</b>、遅刻率 <b>0.52</b> ③<b>3.78%</b>（転籍 3 名，転学 1 名，退学 5 名） ④<b>76%</b></p> <p><b>2. 2 学年</b></p> <p>①<b>60.0</b> 点（学年末） ②欠席率 <b>2.84</b>、遅刻率 <b>1.28</b> ③<b>79</b> 名。 ④転籍 4 名、転学 4 名、退学 11 名。計 19 名 (6.48%)</p> <p><b>3. 3 学年</b></p> <p>①<b>61.8</b> 点（学年末） ②愛産大 17 名、ELIC13 名が合格。 ③<b>92.2%</b>。11 月中に全員内定。 ④ゴールド 3 名、シルバー 9 名、ブロンズ 16 名</p>

### 【自己評価及び課題等】

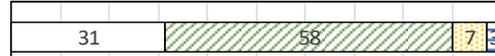
- 生活習慣の乱れが成績不振につながっていくことが多いことから、保護者との連携を強化して安定した学校生活の実現を目指す。
- 数値の設定だけにとどまらず目標達成に向けた具体的対策が必要。

## 令和5年度 保護者学校評価アンケート結果

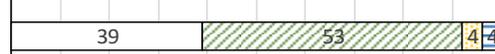
□ 思う □ 普通 □ 思わない □ わからない

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

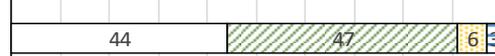
学校は教育目標や教育方針を生徒・保護者に十分説明している。



学校は生徒に高校生としての自覚を持たせ、特色ある教育活動を行っている。



学校の雰囲気が良い、生徒は、充実した学校生活を送っている。



学校は生徒の実態に応じ、個別の課題設定や補充授業など、学力定着のための工夫を行っている。



学校は生徒の進路目標に応じ、柔軟な学習内容を提供している。



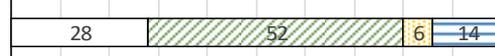
学校は生徒に資格試験や検定試験を通して、多様な学習機会を提供している。



学校は挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導を行っている。



学校は教員やカウンセラーが必要な時に親身になって相談に対応する体制ができている。



学校は外部講師を招いて講習会を実施するなど生徒の健康や安全についての教育を十分行っている。



学校は進路目標の明確化に向け、生徒に必要な情報を提供している。



学校は希望進路の実現に向けて、きめ細かい指導を行っている。



学校は体育祭などの学校行事で、生徒が積極的に参加できるよう工夫している。



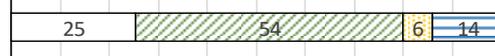
学校はボランティア活動や美化活動を通して地域社会への貢献を促し、奉仕の精神を学ぶよう指導している。



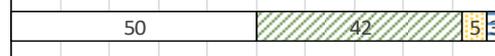
学校は部活動や生徒会活動に積極的に取り組むよう指導し、またその環境を整えている。



学校は地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。



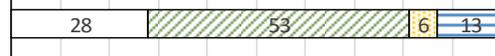
学校は感染症拡大防止対策に努め、速やかかつ適切に対応している。



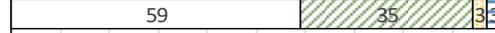
学校はホームページや学年通信・保健室通信などによって、学校の情報を適切に伝えている。



学校は定期的に学校生活アンケートを実施するなど日頃からのいじめの早期発見・対応に取り組んでいる。



学校の施設・設備等の教育環境は、充実している。



学校は災害などの対応について、生徒・保護者に周知し、対応訓練を実施している。



◎回答率 830 / 964 = 86.1 [%]